

令和5年度 世田谷区立桜小学校 学校自己評価報告書

令和6年3月18日

I 学校の概要

- ◇校長 大曾根 博美
- ◇学級数 通常学級 23学級
- ◇児童数 699名（令和6年3月18日現在）
- ◇学校の特色（特色ある伝統的活動・行事）
 - ウインタースクール・新潟県柏崎市立日吉小学校交流
 - 桜小ブラスバンド・さくらっ子フェスタ・ボロ市パレード
 - 寒餅会・まもりんピックさくら
- ◇巴の学び舎（桜小学校 世田谷小学校 桜木中学校）
- ◇ホームページアドレス <http://www.setagaya.ed.jp/sara/index.htm>

II 「学校自己評価」について

肯定的評価（とても思う・思う）の評定が90%以上の項目・内容について、概ね達成できたものと判断した。今後も継続して推進するとともに、必要な工夫・改善を加え取り組んでいく。

また、肯定的評価（とても思う・思う）の評定が60%未満の項目・内容については課題として捉え、その中で特に今後の改善が必要な事項について方策＜改善策＞を検討した。

III 評価結果の考察

1 児童アンケートについての考察

☆感染症対策が緩和された中で、「学校行事は楽しい」と答えた児童は91%であり、「学校生活は楽しい」と答えた児童は86%であった。また、学習に関する項目で「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」と答えた児童は90%であった。教員がコロナ禍前の学校行事を改めて見直し、児童の実態に合わせて工夫して取り組んできたことや日常的に授業改善をしたことに対して児童が高く評価したことは教員の励みになった。

★「自らすすんで運動をしている」と答えた児童が54%と少ない。学校では朝遊びの時間を設定したり、運動委員会が中心になってなわとび運動や2学年合同鬼ごっこなどの取組をしたりして重点的に行ったが、一時的ではなく日常的な運動習慣に繋がられるように今後も取組を改善していきたい。

★「授業中積極的に手を挙げている」という項目は40%にとどまっている。タブレットのロイロノート等を活用した授業が各学年に浸透してきたこともあり、挙手をして発表をする機会が少なくなっていることも伺える。様々な表現の場があるものとして捉え、設定する目標の見直しを検討したい。

2 保護者アンケートについての考察

☆学校行事に対する評価が非常に高かった。「学校行事は子供にとって楽しい」と答えた保護者は、97%であった。「学校行事は子供にとって達成感がある」に対しても94%の

保護者が肯定的であった。教員が学校行事を工夫して取り組んできたことに対する評価が高く、満足感が伺えた。また、本校は地域とのつながりも密接で、伝統を重んじ、保護者が学校にも協力的であると感じている。本校のよさをこれからも継承していきたい。

☆「本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子供に安全に関する指導をしている」に対しては97%であった。教員が日常的に児童の安全第一を意識しながら全体指導、個別指導をしながら熱心に児童と関わっていることが評価されたと伺える。今後もしばしばという時に自分の身を自分で守ることができる児童を育てていきたい。

★学校、保護者、地域が連携を深め、コミュニティーをつくる、桜小独自の「プロジェクト桜」についての理解は40%と低かった。学校だよりや年度始めの保護者会全体会などを通じて保護者にも分かりやすく周知していきたい。

★キャリア教育に関する項目で「本校は子供の生き方や将来のことについて考える授業をしている」は52%であり、課題が残る。キャリアパスポートや使用している目標設定・振り返りシート、キャリア教育の一環として行っている授業などについて学校だよりやホームページで発信していきたい。

3 地域アンケートについての考察

☆好意的な回答を多くいただいた。特に学校行事に関する項目で行事の内容充実、事前の準備や案内などの地域への配慮についてはどちらも96%と高く評価された。また、「通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている」も97%であった。学校行事では、ボロ市パレードやさくらっ子フェスタ、寒餅会などに大勢の地域の方が参加してくださり、地域も学校行事を楽しみにしているということが分かる。地域の方が児童の登下校をあたため、肯定的に見守ってくださっていることも長年の歴史と伝統がある桜小学校のよさである。これからも連携を深め、地域に根付いた学校を目指していきたい。

★学校協議会、合同学校協議会の役割についての項目は評価が低かった。ここ数年はコロナ禍で規模を縮小した形での開催となってしまったことが影響していると考えられる。来年度は、協議会の形式を改善し、役割を果たして機能していることをホームページなどで配信していきたい。

4 総括

☆「学校が楽しい」という思いを多数の児童がもっていて、教職員はやりがいを感じて熱意をもって日々の指導にあたっている姿を見て保護者は信頼している学校ということが分かる。来年度も引き続き児童が「楽しい」と感じられる学校、授業づくりに取り組んでいきたい。

☆桜小学校は、地域や保護者との関わりがとても強い。地域運営学校としていろいろな立場から桜の子どもたちを見守り、積極的に教育に協力したいと要望されている。来年度も地域とのつながりを継続し、さらに深められるようにしたい。

☆今後もよりよい桜小学校にしていくために、寄せられた意見には真摯に耳を傾け学校としてPTAや地域の意見を取り入れたい。